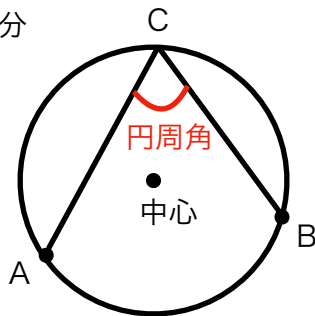


図形に強くなりたい人へ

【 図形の基本 】 P 円周角と中心角の定義と性質

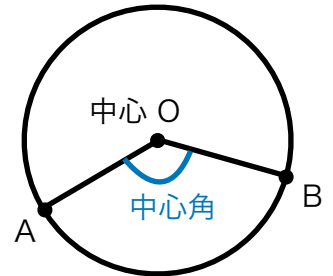
(あ) 円周上の一点から、この点を含まない円周上の異なる二点へそれぞれ線分を引き、その二つの線分間の角を 円周角 という

角ACBが
円周角



(い) 円周上の2点から、半径をそれぞれ引きその半径の間の角を 中心角 という

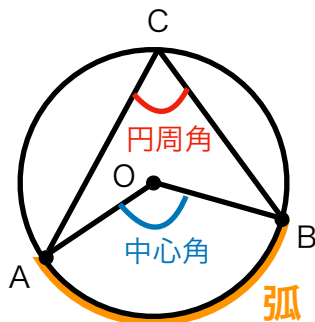
角AOBが
中心角



(う) 同じ弧に対する円周角と中心角の関係は
中心角=円周角 X 2

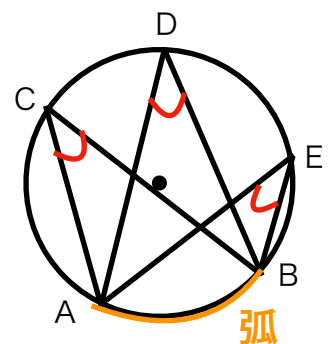
角AOB=
角ACB X 2

(例)
角ACB=60° なら
角AOB=120°



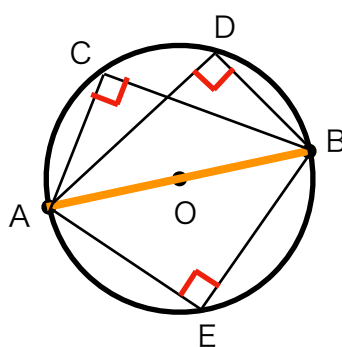
(え) 同じ弧に対する円周角は全て等しい

弧ABに対する
円周角
角ACB
=角ADB
=角AEB



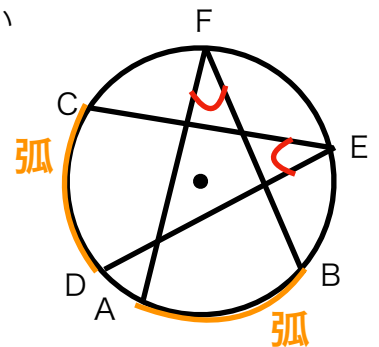
(お) 直径に対する円周角は、すべて90°

直径ABに対する
円周角
角ACB
=角ADB
=角AEB
=90°



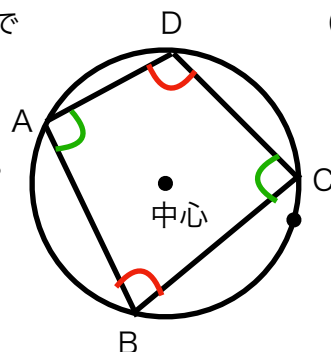
(か) 同一円周上の、同じ長さの弧に対する円周角は、等しい

弧AB=弧CD
円周角
角AFB
=角CED



(き) 円に内接する四角形で
対角の和は 180°

角A+角C=180°
角B+角D=180°



(く) 円に内接する正N角形で
半径で等分に分けた
一つの中心角は
(360 ÷ N) 度

正六角形では
360 ÷ 6 = 60度

